

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

目黒区の環境マネジメントシステムである「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」における2015（平成27）年度の取組み実績と、取組みに対する評価について報告します。

2015（平成27）年度の取組み結果

（本編P.62～65）

区有施設のすべてを対象として、低炭素社会実現に向けた総合的な温室効果ガスの削減と循環型社会実現に向けたエネルギー使用量の削減やごみの減量等環境負荷の低減の取組みを進めました。

● 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の削減

省エネルギー機器の導入及び節電に取り組んだこと並びに暖冬であったことなどにより、温室効果ガス（二酸化炭素換算）排出量原単位は、2012（平成24）年度（基準値）と比較して1.4%の減少となりました。また、エネルギー（原油換算）使用量原単位は、2012（平成24）年度（基準年）と比較して1.3%の減少となりました。

温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量について排出源別に見ると、電気（66.1%）、次いで都市ガス（27.8%）となっており、上位2項目で94%を占めています。このことから、温室効果ガスの排出量の削減には、電気・ガスの使用量を削減することが重要であるといえます。

＜温室効果ガス排出量・エネルギー使用量と内訳＞

区分	2012 （平成24） 年度 （基準年）	2015 （平成27） 年度	対基準 年度比
温室効果ガス （二酸化炭素換算） 排出量原単位 （単位： t-CO2/千㎡）	43.071	42.452	-1.4%
エネルギー（原 油換算）使用量 原単位（単位 ：KL/千㎡）	23.415	23.109	-1.3%
電気（千kWh）	32,081	31,714	-1.1%
都市ガス（千㎡）	2,862	2,636	-7.9%
水道（千㎡）	793	737	-7.1%
下水道（千㎡）	799	733	-8.3%
ガソリン（千ℓ）	38	54	+42.1%

*ガソリンは使用量ではなく購入量

● 環境負荷の低減に向けた取組み

環境負荷低減に向けて、前年度以下の量に減らすことを目標に、ごみの排出量と紙の使用量削減に取り組んでいます。2015（平成27）年度は、2014（平成26）年度と比較するとごみの排出量、紙の使用量ともに減少しました。

＜ごみの排出量＞ （単位：t）

区分	2014 （平成26）年度	2015 （平成27）年度	対前年度比
排出量	1,265	1,106	-12.6%
内訳	燃やすごみ	934	-12.5%
	燃やさないごみ	172	-15.7%
	資源	25	+8.0%

＜紙の使用量＞ （単位：万枚）

区分	2014 （平成26）年度	2015 （平成27）年度	対前年度比
用紙の購入量	4,100	3,862	-5.8%
外注印刷物	4,271	4,025	-5.8%

* A4サイズに換算

2015（平成27）年度の取組みに対する評価

区民と学識経験者からなる第三者評価委員会が、めぐろエコ・プランⅡの2015（平成27）年度取組み結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

○ 〔取組み全体に対する意見〕

全体の取組みは、改善努力がうかがえ前年度より確実に進んでいるが、温室効果ガス排出量原単位・エネルギー使用量原単位の推移が目標に対し十分とは言えない。無理で非効率と感ずる取組みを見直すなど、区全体の業務効率化を図りながら、目標達成に向けて、一層の努力を期待する。